

主治医が二人いる安心



医大病院医師と「かかりつけ医」が協力してあなたを見守ります。

医大病院から地域の「かかりつけ医」
(近くの診療所・クリニック)へ紹介

連携

地域の「かかりつけ医」
(近くの診療所・クリニック)から
医大病院へ紹介

病診連携とは？

専門的な検査や入院が必要な場合は「かかりつけ医」(診療所・クリニック)から医大病院へ。症状が安定したら医大病院からふたたび「かかりつけ医」へ。患者さんの状態に合わせて最適な医療が受けられるようにしていくこと。それが病診連携です。

病＝病院 診＝診療所(クリニック)

特定機能病院とは？

医大病院は地域の基幹病院として、高度かつ専門的な医療を行う「特定機能病院」です。医大病院での専門的な検査・治療が終わりましたら、地域の医療機関をご紹介させて頂くこととなります。質の高い医療を行うことを目的に、厚生労働省は医療機関の役割分担を進めています。医療機関それぞれが機能を生かして、患者さんに適切な医療を行うために「かかりつけ医」との連携を推進しています。

主治医にお気軽にご相談下さい

公立大学法人 福島県立医科大学附属病院

お問い合わせ／地域連携部 TEL.024-547-1885

「かかりつけ医」をもちましよう。



「かかりつけ医」とは？

地域の中で病院と診療所がその役割を分担しながら、適切な医療を患者さんに提供していくことが求められています。そこで皆様にお勧めするのが「かかりつけ医」を持つことです。「かかりつけ医」とはちょっとした病気やケガなどの診察や相談が気軽にできる身近なお医者さんのことです。自分のことをよく知っていて、必要なときには専門医に紹介してくれるお医者さんを「かかりつけ医」に持つと良いでしょう。

「かかりつけ医」を持つとこんなメリットがあります。

- 気軽に受診、相談ができる。
- 柔軟に対応してくれる。
- 検査、専門的治療、入院などが必要な場合、適切な医療機関を紹介してくれる。
- 往診をしてくれる。
- 家族の病歴、症状、健康状態を把握しているので、いざというときにすぐに対応してくれる。病気の早期発見にもつながる。
- 介護保険、訪問看護など必要書類を書いてくれる。

日ごろの健康管理はかかりつけ医へ

専門的な診療が必要なならば医大病院に紹介



高度医療は医大病院へ

症状が安定したら再び「かかりつけ医」へ



「かかりつけ医」から、医大病院へ

「かかりつけ医」に、体や心の健康について相談され、また治療をお受けになり、専門的な検査や治療、入院が必要と判断された場合は「かかりつけ医」からの紹介で医大病院を受診して下さい。

医大病院から、「かかりつけ医」へ

治療が終了したり症状が安定したら、再び身近なお医者さんである「かかりつけ医」へ、医大病院よりご紹介いたします。